

医療法人 茜会 新副院長 あいさつ

新たな地域医療に向けて

医療の基本はかかりつけ医である！



藤田祐之医師



本年 4 月 1 日より当院に

着任いたしました。大学卒業後、つくばにて内科医と神経内科のレジデントとして 6 年間過ごし、その後さらに 6 年のあいだ主に京都にて神経科学の研究生活をさせていただいております。その間、特に外来・病棟の皆様方にはご迷惑かけていたことをお詫び申し上げます (電車内で寝過ごし福井駅を通過したこと数回ありました)。

私にとってこの地は、小中学校の時代を過ごした場所です。豊かな山と川に囲まれ、足をのばせば海のみえるこの地に育てられました。

このたびこの地域の医療に貢献する仕事ができることに大きな喜びを感じ、誇りに思います。30 年前は田んぼの真中だったはずですが、現在は立派なものです。これまでの職員の皆さまの努力の積み重ねと地域

の方々には助けられた結果なのでしよう。今後どのような運営に参加していくか、これは非常に重要な任務であり身の引き締まる思いです。皆さまのご指導、ご協力なしでは成し得ないものと観念しています。



医療の基本は、金澤一郎先生 (宮内庁皇室医務主管、神経内科医) の言葉を借りると『かかりつけ医・家庭医であり、それは近くににいる医師で、すぐ相談に乗ってもらえる空間的利便性を持ち、いざとなったら 2 次医療機関に紹介してくれる医師』ということになります。

この医療の基本となる働きは守らなくてはいけません。信頼されるかかりつけ医なしに

*ドクターズマガジン No. 122

は医療全体の存続はできないのです。かかりつけ医の役割は祖父の代からも受け継がれており、使命感を覚えずにはいられません。さらに私の神経内科医としての専門性と小さな研究者の心を加えて、信頼を得る努力を継続していく所存です。よろしくお願い申し上げます。

患者さんの声

高柴美代子さん (79 歳)

気弱になっていた私に、先生がニコニコ顔で迎えてくれるだけで、気持ちがホッとし何でも打ち明けることが出来ます。

外来診察医

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------|----|---------|--------|----|---------|
| 藤田 (祐之) | 酒井 | 藤田 (祐之) | 院長 | 米田 | 藤田 (祐之) |
| 高橋 [糖尿病] | 西坊 | 西坊 | 藤田 (慧) | 森川 | 院長 |

金曜午後：嵯峨医師 (循環器)

義援金 十一万六千円

皆様と当茜会職員からの義援金を福井新聞社に持参しました。茜会自体は、別枠で義金をしています。

茜会では災害時に病状の軽重に合わせて対応をとる体制 (トリアージ) を行う予定です。そして、食料の備蓄 (食事・水分) として約 300 名分を用意しています。さらに、感染爆発 (パンデミック) に対して感染防護などセット 50 組を準備しています。

略歴

- 1998 年 筑波大学医学専門学群卒業
筑波大学附属病院
筑波メディカルセンター病院 (内科レジデント)
- 2000 年 筑波大学附属病院、国立水戸病院 (神経内科レジデント)
- 2004 年 福井大学医学部附属病院 (医員)
- 2005 年 京都大学大学院 博士課程
- 2009 年 京都大学 グローバル COE (特定研究員)
- 2011 年 藤田神経内科病院 (副院長)
福井大学医学部 分子遺伝学 (横田教授)